

	病名	主な症状	出席停止期間	提出書類	
第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る)、中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る)及び特定鳥インフルエンザ		治癒するまで出席停止	・診断書 ・学校感染症罹患届	
第二種	インフルエンザ	急な発熱、頭痛、腰痛、関節痛、全身倦怠感、咳、鼻水、のどの痛み	発症後5日経過し、かつ解熱後2日を経過するまで	・診断書の代わりに薬剤情報提供文書(薬の説明書)・検査結果・診療明細でも可 ・学校感染症罹患届	
	百日咳	はじめは軽い咳やのどの発赤、その後、コンコンという短く激しい咳を繰り返す	特有の咳が消失するまで または5日間の適正な抗菌剤による治療が終了するまで		
	麻疹(はしか)	発熱、咳、鼻水、目やに、結膜充血、頬の内側に白い斑点(コプリック斑)ができる 発熱後4日目より皮膚に発疹	解熱後3日を経過するまで		
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	微熱(37-38℃)、片側～両側のおごの後ろが大きく腫れて痛む(押ししたり、咬んだりすると痛い)、 食欲不振・嚥下困難	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後、5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで		
	風疹(三日ばしか)	発熱と同時に発疹、耳の後ろ・首・わきの下などのリンパ節が腫れる 咳・結膜充血	発疹が消失するまで	・診断書 ・学校感染症罹患届	
	水痘(みずぼうそう)	微熱・全身倦怠感とともに、水泡のあるかゆみを伴う発疹が背中・腹部から全身に次々できる。 かさぶたとなり、先に出たものから治っていく	すべての発疹が痂皮化(かさぶた)するまで		
	咽頭結膜熱(プール熱)	発熱、のどの痛み、結膜充血、首のリンパ節が腫れる	主要症状が消失した後、2日を経過するまで		
	結核	初期は自覚症状なし。胸部レントゲン検査で発見されることが多い。 疲労感、寝汗、微熱、咳、痰、体重減少、肩こり	医師が感染の恐れがないと認めるまで		
	髄膜炎菌性髄膜炎	高熱(38℃以上)、頭痛、吐き気・嘔吐、首が硬い、頭がボーっとする	医師が感染の恐れがないと認めるまで		
第三種	コレラ	突然の下痢(米のとぎ汁様)、嘔吐、脱水症状(とくに流行地への海外旅行後)			
	細菌性赤痢	急激な発熱、下痢(水様)、腹痛(しぶり腹)、血便(とくに流行地への海外旅行後)			
	腸管出血性大腸菌感染症(O-157)	激しい腹痛のあと、下痢(水様)、吐き気・嘔吐、悪寒、血便			
	腸チフス	高熱が続く、発疹(淡紅色の斑点)、比較的徐脈(高熱の割に脈拍が遅い)、脾腫(脾臓が腫れる) (とくに流行地への海外旅行後)			
	パラチフス				
	流行性角結膜炎	眼の異物感、涙がよく出る、目やに、結膜充血			
	急性出血性結膜炎	眼の痛み、きつい充血、出血してくる			
	その他の感染症(医師による出席停止の指示があった場合)				
		マイコプラズマ感染症	かわいた激しい咳が続く、発熱、のどの痛み		
		溶連菌感染症	のどの痛み(扁桃腺が赤く腫れる、白苔がつく)、高熱		
		急性ウイルス性肝炎	発熱、全身倦怠感、吐き気・嘔吐、黄疸(白目や皮膚が黄色くなる)		
		伝染性紅斑(りんご病)	両頬に少し盛り上がった尋麻疹様の発疹、手足の網目状の紅斑、発熱、手足の関節の腫れ・痛み、微熱		
		手足口病	微熱、のどの痛み、口の中や手足に水泡ができる		
	ヘルパンギーナ	高熱、のどの痛み、口の中(のどの奥)に水泡・潰瘍ができる			
	感染性胃腸炎(ノロウイルス感染症、ロタウイルス感染症など)	嘔吐、下痢(水様)、発熱、腹痛			
	EBウイルス感染症	軽いかぜ症状ですむことが多いが、伝染性単核症になると、発熱、首のリンパ節が腫れる、のどの痛み(扁桃腺が赤く腫れる)、ウイルス性肝炎の症状(全身倦怠感、吐き気・嘔吐、黄疸など)も	医師が感染の恐れがないと認めるまで * 第三種のその他の感染症については、医師により診断されたうえで、他者への感染性が強いと判断された場合には出席停止とする。	・診断書 ・学校感染症罹患届	